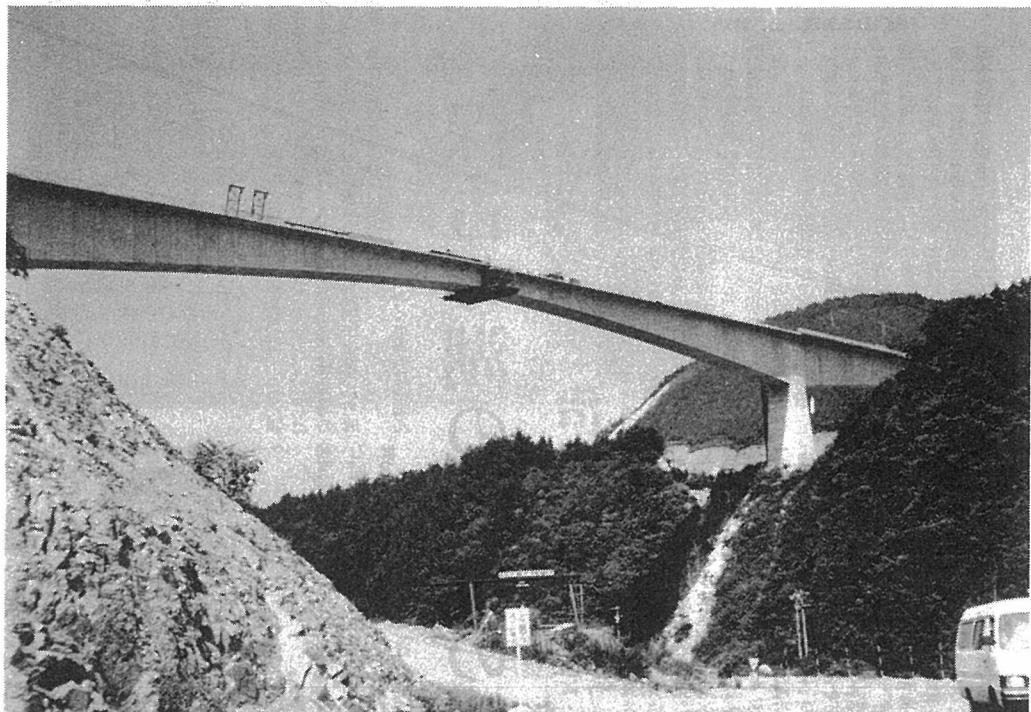


公民館だより  
ひがしの

№ 24 号  
60. 9. 20

発行 東野公民館



「阿木川ダム二号橋  
阿木川大橋つながる」

橋の延長四百六十米、高さ八十六米（日本一）が、二本の立脚をもとにヤジロベー工法（ディビダーク）により、最近つながりました。（完成は十一月中）

この橋の建設費は合計二十九億円、これに関連する国道二五七号线付替工事の完成は、昭和六十二年度中、供用開始は六十四年とのこと、ちなみに六十年度の総工事費はダム本体費も含め、約百二十億円とのことでした。

（恵那市の予算は約百十三億円）





## 六十年前に

### 東野の農業基盤を確立した人々

右の文中に「可知が書いた碑の前で毎年記念祭が営まれる」とあるのは、昭和二十四年当時の青年団（団長・千藤延秀、現伊藤）が建立した上の平の開墾記念碑のことです。

この十三年間にわたった大事業（昭和八年完成）に使った金額は、総額三十二万円で有ったそうです。当時米一俵が七円五十銭（開墾史・山道より）ですので、現在の金額になると約八億五千万円となります。

歴史はめぐって、今年から東野地域にも県営ほ場整備事業が

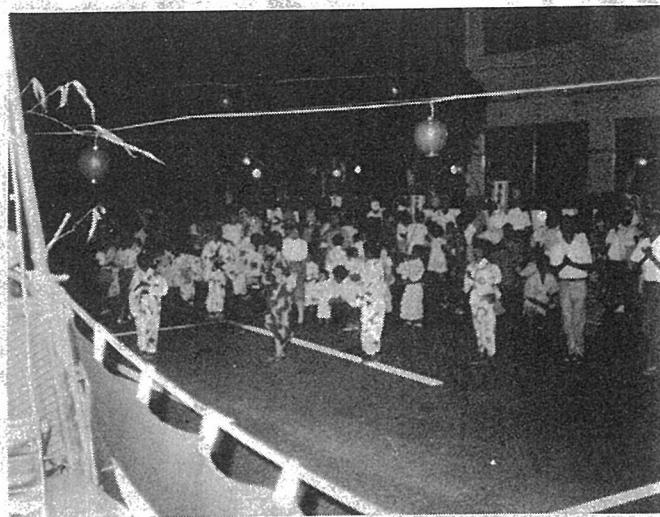
第三ブロックより着工されました。

去る七月十八日これにともなう東野土地改良区が設立、東野公民館一階に事務局も設置されました。認可総事業費は十七億五千万円、今年度分は約七千四百万円で進められます。

六十年ぶりの大きな地域整備事業であり、働きよい住みよい町づくりの「事業」といえます。よく「百年の大計」などと言いますが、東野にとっては二度となり、地域再生の骨格作り事業です。当時の方々のご苦労がこの写真からも忍ばれます。

## 第四回

## 「納涼夏まつり」が開催される



自治連合会、婦人会、老人クラブ、体育協会、公民館運営委員会等により、「夏まつり実行委員会」が組織され（委員長・西尾茂芳）去る八月十日夜、盛大に行われました。特に七店の大夜店が幼・少年層に人気があり、（何でも五〇円）思い出づくり

親子ふれ合いの場となりました。

秋の町民運動会と、この納涼夏まつりが東野の地域を結び、連帯を深め合う二大行事として定着したように思います。

なお、左記の方々より、ご志を賜りました。厚く御礼申し上げます。

三伍衣料様 農協東野支店様  
恵那商工会議所様 かく方商店様  
小栗商店様 西尾衣料店様  
渡辺忠明様 光岡組様 西尾  
茂芳様 湯下屋様  
喫茶リーベ様  
光岡聖真様 小林  
住建様 土方哲夫  
様 農協青年部様  
林生花店様 東  
野体協様 東邦パ  
ック様 かじ忠商  
会様 老人クラブ  
様 身障者福祉協  
議会様 市川義晴  
様 伊藤祐道様  
光岡慶直様 市川  
孝道様 古山猛省

様 渡辺商店様 中日サンクリー  
ン様 千藤政治様 東和石油店様  
古山商店様 渡辺公彦様 すし屋  
の伊八様 以上合計拾四萬八千円也

ご高志お名前



「公民館は私達の情操のふる里」

市川義晴

昨今の公民館活動は、その地域それぞれの特異性を考えた多様な活動が行われています。

東野においても地域に密着した公民館の運営と活動は、それこそ利用する地域住民の理解と協力が必要ですが、先ず皆さんとの積極的参加が絶対的な必須条件であると思います。

私達を取り巻く近代社会の態様は、ともすれば人間性を否定し、友愛を欠き、家族制度崩壊等危険性のあることも指摘されています。

公民館は、私達が一つの和になるふる里東野の温かい情操の核となるべき施設であることを認識したいと思います。

す。

公民館活動の輪を子供も大人  
も男も女も、自分の資質の糧と  
して抜けたいものです。

一人一人の願望の探求、文化への指向、そして身心練磨と情操の涵養等、それぞれの講座、サークルを集大成してこそ豊かな人間性の啓蒙に運動し、又、無限の楽しみと喜びがあるのであります。

『私も参加、あなたも参加』  
こうした地域の波状的呼応がふる里東野の黎明ではないでしょ  
うか。現在の公民館運営がペストではありませんが、惰性やマネリを排し、公民館活動に新風を吹き込み、斬新清冽なグループの参加を待望したいもので

の実現を私は夢としております。

(運営審議会委員長)

◆委員名◆

委員長 市川義晴（学織）  
委員 鵜飼敬三（学校長）

西尾茂芳（振興会）

古山猛省（森林組合）

千藤南海（婦人会）

伊藤善生（体育協会）

光岡聖真（市議会）

伊藤祐道（市議会）

伊藤宮夫  
(P T A)

夏目峰子（P.T.A）

夏目峰子（P.T.A）

形式の中での活動参加でなく、  
参加に普段で草履はきでの  
参加こそ楽しみがあるのであつ  
て、「公民館の健全な運営は、特  
別のものではない」と、手

○○○○○○○○  
公民館運営  
審議委員が  
決まりました。  
○○○○○○○○

昭和六十年四月一日より任期

## ◆二大学が調査研究に来ました

今年の八月二十五日より一週間、東京の成城大学と岐阜女子大学が合同で、東野の歴史・風土・経済などの調査に入りました。

これにつきましては、東野老人クラブの方々に大変なご協力を戴きましたこと等、大学の教授・講師が厚く御礼を申しておきました。

公民館運営委員会もこの調査活動を後援し、会議室等を無料で開放しました。この研究の結果等は来年の春頃完成したい、東野公民館で発表していただくことにしております。

その折は老人クラブの皆さんを主体とした調査分析の報告会を開く予定でありますので、ご参加下さるようお願い致します。

### ○新しいグループの会員を募集します○

ある里東野の歴史や伝説、寺院、古跡等を研究し、先人の生活や変遷等を調べ、郷土史家やその道の先生を招いて話を聞いたりする、グループ活動をしたいとの声もありますので、同好

の方々を募集いたします。

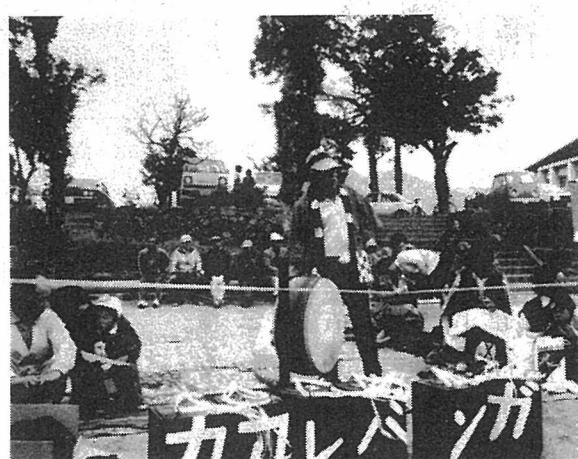
ご希望の方は東野公民館までお申し込み下さい。

十月下旬ごろに第一回の集会を開きたいと思つております。

(市川記)

### ≡団体だより≡

## 東野体育協会より



### 種 目 内 容

去る八月二十五日に市の体育大会（球技部）が行われ、東野地区より百数十名の選手が各部門に出場しました。

参加した部門の結果等は次のようになりましたが、各選手

- ・ソフトボール一般  
大井に逆転負け
- ・ソフトボール四十年代

飯地に負ける

- ・ソフトボーラー家庭婦人
- ・準決勝大井に負ける

同東野の代表としてよくがんばっていただきました。結果は次

のとおりです。（伊藤会長記）

## 県営ほ場整備 第三ブロック着工される

去る八月二十九日、第三ブロック（約10ha）の工事施工にあたり、神事による鍛入れ式が現地で行われました。

山本用水路より下を渡辺土木部、上を光岡組が施工するとのことです。役員の方々（任期三ヶ年）は次通りです。

工事担当理事	○松浦 三浦	評価担当理事	○足立 光岡	換地担当理事	○西尾甲子雄	工事担当理事	長谷川雅通
						○伊藤 和夫	○伊藤 和夫

会計担当理事	伊藤 進	監事	○足立 光岡	総括監事	○渡辺 渡辺	用排水調整理事	○伊馬 和昌
						○藤田 計明	○藤田 計明

- ◆十一月二十三日（土）は白坂開墾記念祭です。お餅等で自治会にお世話になります。
  - ◆生ゴミ、不燃物はなるべく真前日に出して下さい。今度の不燃物は十月三十日（木）です。
- 以上

・バレーボール一般	第七位	・剣道	第二位
・バレーボール家庭婦人	第七位	・テニス	第五位
・バドミントン	第五位	・サッカー	第三位
・卓球一般	第四位	・クリケット	第五位

・ゲイトボール	第五位	・剣道	第二位
		・サッカー	第三位
		・クリケット	第五位

△東野地区早朝野球大会の結果	あとは十一月二十四日の駅伝が残っていますが、現在のことろ総合で第四位です。
優勝 第七分団	△東野地区早朝野球大会の結果

準優勝 第一分団	第三位 第三、第六分団
推進委員、選手の皆様、御苦労様でした。	△東野地区早朝野球大会の結果

### お知らせコーナー

\*\*\*\*\*

◆九月二十九日（日）は東野小学校運動会です。盛大にした

いものです。

◆十月二十七日（日）は町民運動会の予定です。色んな趣向を

自治会毎にご検討して下さい。

◆十一月十日（日）は恵那農業祭です。

◆十一月二十三日（土）は白坂開墾記念祭です。お餅等で自

治会にお世話になります。

◆生ゴミ、不燃物はなるべく真前日に出して下さい。今度の不燃物は十月三十日（木）で

特 別 寄 稿

## 東野消防活動について

第三分団長 市川孝道

日頃、消防団には深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年の四月着任以来、一年六ヶ月を経過しようとしておりましたが、昨今の私達を取り巻く生活環境は誠に厳しい中で、団員一人一人はお互いに家庭を持ち、仕事を持ち、多忙な日常生活の中諸先輩達の築かれた伝統ある東野消防団を守るべく、日夜訓練に訓練を重ねておられます。

これも一重にご家族の皆様並びに住民の方々のご協力があればこそと、感謝申し上げております。

たが、今年については、皆さんご承知の通り、落雷による建物火災が発生し、懸命な消火活動にもかかわらず全焼してしまいました。しかし、翌日の後片付けには、かつてない出動人員により、団員が一丸となって、汗と煤とで顔を真っ黒にし、真剣に作業をしている姿をまのあたりにして私も感銘を受けたものです。

十五%を三%下廻ったのです。今迄申し上げた様にこの数名の方が出席して居ればと、思うに残念で仕方有りません……これからも、消防団の存続する限り、団員一人一人がそれぞれの責任においてその任務を全うし、住民の皆様に信頼される消防団になる様、努力をしていきたいと思います。

今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

いました事は、訓練内容及び得点については、第二位に匹敵する成績を上げながら、結果的に

は四位にあまんじたからです。この原因は、出動率の差でありました。

この出席率については、当初役員全員が一番心配をし事前に夜間訪問をしてお願いした所、

「秋風都門に入る」と石川啄木は初秋の風のことを述べておられます。

東野盆地にも平穏に秋が豊作を約束しつつ訪れてくれました。四十年前の記憶をもつ私達年代者にとっては、この平和を大変尊いものと感りますし、もうあと何回この静かな美しい秋を迎えるか、などと思うと一日一日がより大切に思えてなりません。

東野全体の大きな事業や個々の生活のこと等、すべてを巻き込んで日々が動いてゆくわけですが、私も含めてもう少しゆったりと、寛容に生きてゆきたいものと感ります。

そんな憩の場のひとつとして、公民館を気軽にご利用下さい。お待ち申し上げております。

)編( )集( )雑( )記(

